

新宮山産ぐるーぷ第2243回

行仙宿巡回整備（竹林院来宿の為在庫確認と四ノ川林道整備）

◇実施日 6月25日（日） 晴

◇参加者 沖崎吉信、大江加予子・徳子、畑清子、湯川一郎

梶野照雄、瀧本昭太郎 7名

女性陣の皆さんから7月15、16日の竹林院奥駈行接待について当日の夕食はパック料理とし、翌日の朝食と昼弁当は行仙宿で手造りの予定。暫く行仙宿での接待が無かったので諸々の在庫を確認したい。また前回持ち降ろして洗濯した毛布13枚を持って行きたいので、行仙宿行き登山計画をお願いしたい。と申し出があり、急遽山行を企画した。



四ノ川林道の補修

水受け樽交換

行仙宿小屋の在庫確認と毛布の荷揚げが主な作業だが、さして時間が掛かることではないので、毎回気になっていた四ノ川林道の荒れた部分の補修作業もメニューに加えた。

国道425号から四ノ川林道を300mほど入った所で車を停め補修作業を始める。持ってきた土嚢6袋を窪地に投入し、近くの土をバケツに集めて同じように窪んだ部分を埋める。ツルハシで山になった部分を削る作業も同時に行った。瀧本さんも到着し作業に加わる。梶野君も登山口水場の水受け樽の交換を終えて駆けつけてきた。



行仙宿に着く

洗濯済みの毛布

行仙宿の水場確認

この場所は大雨の度に水が大量に流れて路面の土を流し去ってしまう。林道脇には大きな側溝があるが、落石や大量の落ち葉でダムが形成されて雨水が側溝から溢れて路面を流れ、深い溝が何本も作られている。側溝の溢れを解消するために枯葉や落石の除去作業も行った。1時間近く作業を続け、路面の凹凸は相当改善、側溝のダ

ムも除去した。今後の大雨の後に結果を見て再び土のう袋の投入が必要かを判断したい。

午前10時30分登山口を出発、モノレール終点から洗濯済みの毛布13枚を手分けして運ぶ。途中、前回改修した場所で「良かった、歩きやすい」と褒めの言葉を頂いた。小屋着は11時30分を過ぎていたので、先に昼食とした。

食後、梶野、瀧本の二人は水場へ、湯川君は今日降ろす汚れた毛布の梱包に忙しい。



気温は22.2°C



本日の参加者



汚れた毛布を降ろす

女性陣は小屋と管理棟で必要資材などの在庫確認をされる。

沖崎は背負子9台の置き場変更などを行った。

水場から二人が戻った後、戸締りを確認して下山した。

暑さも厳しくなってきたし、虫やヒルなども注意しなければならぬ。帰宅後、次のような電話があった。

◎新宮市役所から

8月30日(水) 東京大学学生の体験学習があり、行仙宿で一日面倒を見て欲しい。

◎NHK関連制作会社、岡本氏から

日本100名山の90分番組を製作、本宮から吉野までの順峯奥駆道を収録予定で、7月下旬に下見。9月上旬から中旬ごろに撮影を行うので、サポートなどの協力をお願いしたい。(記：沖崎)

行動タイム

10:30 補給路登山口→11:30 行仙宿 13:55→14:30 補給路登山口